地域医療部会 20 年を振り返って

NPO 岡山医師研修支援機構副理事長・地域医療マネジメント委員長
（社会医療法人 緑壮会理事長） 金田道弘

Ⅰ 設立当時

2006 年 6 月 27 日の NPO 岡山医師研修支援機構の設立総会における中務水島中央病院長(当時)からの、「中小病院が集まって協議や勉強する部会を作ってはどうか。」との提案がきっかけとなり、同年 9 月 6 日水曜日から始まった地域医療部会(当初は地域医療病院部会)。毎月第 1 水曜日、19 時から開催し(会場は設立当初は岡山大学医学部会議室、近年は主に岡山県医師会館)、2026 年 9 月、おかげさまで 20 周年を迎えることができました。

振り返ってみると、2006 年 9 月の第 1 回地域医療病院部会の参加メンバーは以下の 9 名の皆様でした。①江澤和彦(倉敷広済病院院長)、②遠藤浩(倉敷リハビリテーション病院院長)、③岡村一博(岡村一心堂病院理事長)、④金田道弘(金田病院院長)、⑤鶴見尚和(成羽病院副院長)、⑥中村隆資(高梁中央病院副院長)、⑦難波義夫(金光病院院長)、⑧原史人(倉敷第一病院院長)、⑨三宅賢一(土庄中央病院院長)でした。(五十音順・敬称略、議事録から)

Ⅱ 10 年目

地域医療部会設立から 10 年目・2016 年の NPO 岡山医師研修支援機構設立 10 年目の節目に、山陽新聞社の「岡山の医療健康ガイド MEDICA」の記事の中で、NPO の糸島理事長(当時)は、「人口減少時代を迎え、地域医療を取り巻く環境は厳しいのでは」との記者の質問に対し、地域医療部会について以下のように答えておられます。

「岡山、広島、香川などの中小病院の理事長や院長、大学の医学部や法学部の教授、マスコミ、弁護士らで地域医療部会を立ち上げ、毎月勉強会を開き、病院経営の在り方や多様な医療ニーズに応えるための病院間の連携などをテーマに議論している。職種や立場の異なる人たちが地域医療の充実や日本の医療の将来像を語り合い連携を図る試みは全国でも例がなく、機構設立による大きな成果といえる。」(原文のまま)

Ⅲ 20 年目

「20 周年記念・第 238 回 NPO 岡山医師研修支援機構・地域医療部会」 は 、2026 年 9 月 2 日水曜日 19 時から、岡山県医師会館でハイブリッド開催され、49 名のご参加でした。主な参加者は、岡山県内(一部広島県・兵庫県)の地域医療の責任を担う病院と診療所の理事長・院長・副院長、基幹型病院の院長、江澤日本医師会常任理事、岡山県保健医療部長・保健医療統括監・医療政策課長・地域医療推進課長、県内の保健所長 3 名、岡山大学地域医療人材育成講座教授 2 名、弁護士 2 名、岡山県医療勤務環境改善支援センターの社会保険労務士 2 名等の皆様(順不同)。江澤日医常任理事からはいつも厚労省・中央社会保険医療協議会(中医協)等で現在協議されている最新情報が提供されます。

地域医療部会のスケジュールは毎回ほぼ決まっています。①難波地域医療部会長(元岡山県病院協会長・日本病院会常任理事)からご挨拶と情報提供、②辰巳岡山県保健医療部長か

らご挨拶と情報提供、③則安岡山県保健医療統括監から情報提供、④江澤日本医師会常任理事から情報提供、⑤新メンバーの紹介(部会メンバーの推薦者から)と自己紹介、⑥参加者全員から 1 分間スピーチ、⑦次回・次々回開催日の確認。そして 20 時 50 分には必ず閉会します(会場閉鎖のため)。その後希望者で会場を移して懇親会。なお、毎年 7 月には夏の大懇親会が開催されます。

Ⅳ 大切な場

20 年前に 9 名で始まった地域医療部会が 20 年間もこうして毎月続いてきた理由を私なりに考察してみました。最大の理由 3 つとは、❶「楽しい」、❷「勉強になる」、❸「仲間ができる」ではないかと考えました。部会には様々な職種や立場の方がおられますが、それぞれの方にとって楽しく、毎回学べるものがあって、安心の強いネットワークが築ける「大切な場」、が「地域医療部会」ではないかと考えました。

毎回学べることや驚くことが盛りだくさんです。9 月部会で私が最も驚いたことは、同年代の辻岡山赤十字病院名誉院長(岡山県バスケットボール協会長、日本醫師バスケットボール大会長)が、ギリシャ・アテネで開催された第 13 回欧州ベテランバスケットボール選手権大会に選手として出場されたことでした。耳を疑いすぐにご本人に確認しましたが、「見学」ではなく間違いなく「選手」としての参加でした。多くのメンバーが元気や活力をもらえたお話でした。

Ⅴ おわりに

地域医療部会を長年牽引してくださっている難波地域医療部会長、メンバーへの部会案内メールの発信・会場準備・ハイブリッドの準備設営・懇親会を毎回担当してくださる岡村一心堂病院岡村院長、毎回議事録を作成し懇親会も担当してくださる森下病院森下院長(岡山県病院協会長)、いつも会場をお貸しくださる内田岡山県医師会長、そしていつも温かく私たちの活動を見守りご支援くださる忠田 NPO 岡山医師研修支援機構理事長はじめ関係するすべての皆様に、改めて心より感謝申し上げます。